

# 建設技術審査証明事業 住宅等 関連技術

概要書

## 吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術 「セラパックシステム(封じ込め工法)」



2012年8月

建設技術審査証明協議会会員



技術審査証明書(縮小版)

## 適用範囲

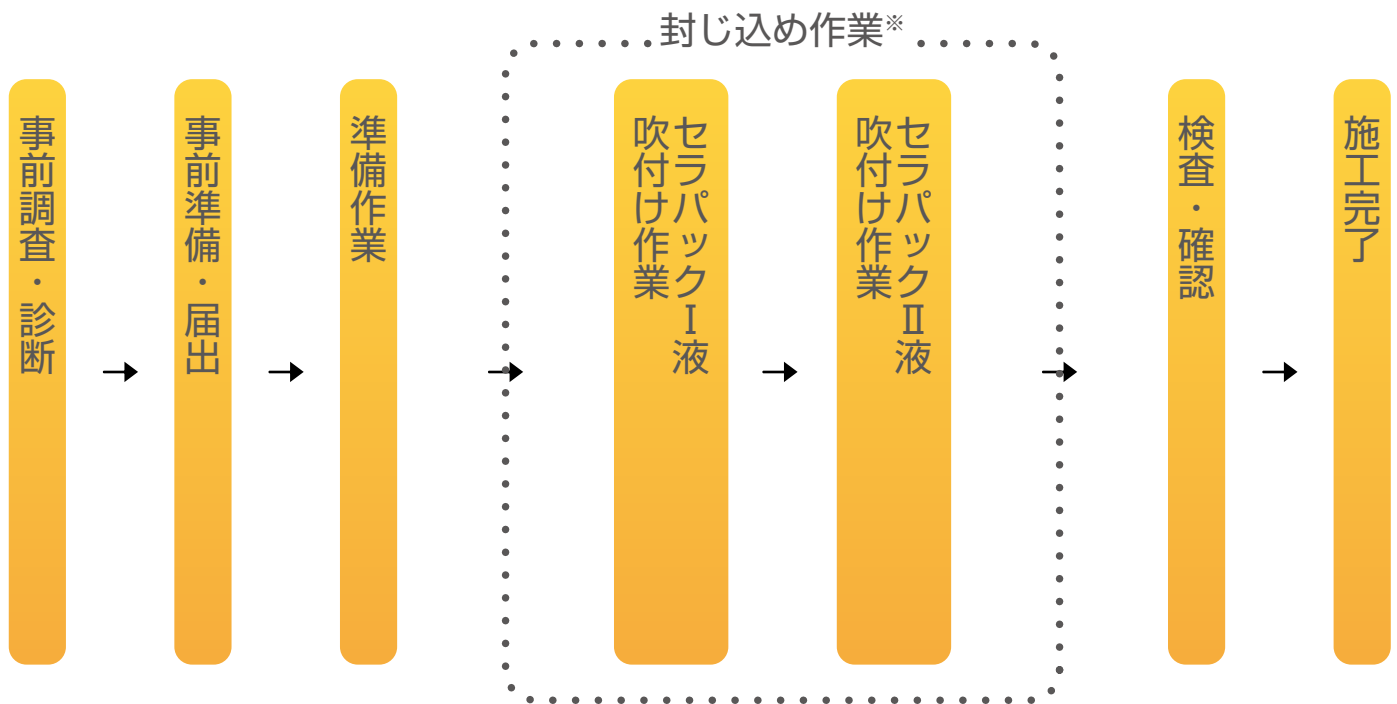
本技術は既存建築物に施工されている吹付けアスベスト及びアスベスト含有吹付けロックウールの封じ込め工事に適用します。

## 技術概要

セラパックシステム(封じ込め工法)は、既存の建築物に施工されたアスベスト含有吹付け材に対してアスベスト粉じんの飛散防止を十分に配慮し、かつ、関連法規に則って安全に封じ込める吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術である。

本工法に用いる石綿飛散防止剤は、建築基準法第37条第二号の規定に適合する、国土交通大臣認定を取得している自社製品材料を使用する。

## セラパックシステム標準施工フロー図



※封じ込め作業手順は、使用する石綿飛散防止剤（大臣認定取得）の施工要領等に従うものとする。上記フロー図にはその一例を示す。

## 技術審査結果の概要

本技術の開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された開発目標の確認方法により審査した結果は以下のとおりです。

- (1) 国土交通大臣認定の石綿飛散防止剤を使用して実施する封じ込め工事に際して、作業室内に隣接する部分、及び集じん・排気装置（負圧除じん装置）吹出し口の空気1リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおよそ10本以下であることから、汚染を抑制することができるものと確認された。
- (2) 国土交通大臣認定の石綿飛散防止剤を使用して実施する封じ込め工事に際して、封じ込め工事終了後の作業室内における空気1リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおよそ10本以下であることから、建築物利用者の安全を図ることができるものと確認された。
- (3) 封じ込め工事中の作業者は、関連法令に則って作業を行う等のほか、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講じていることから、安全を図ることができるものと確認された。

## セラパックシステム施工例

神奈川県某工場



施工前



施工後

京都府某ホテルボイラー室



施工前



施工後

兵庫県某工場



施工前



施工後

愛知県某ビル機械室



施工前



施工後

## 依頼者

富士セラ株式会社

〒604-8187 京都府京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町436番地2

SHICATA DIX BLDG 8F

## 技術内容及び報告書の入手に関するお問い合わせ先

報告書の入手を希望される方は下記までお問合せ下さい。

法人名 富士セラ株式会社

部署 開発部

住所 〒604-8187 京都府京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町436番地2 SHICATA DIX BLDG 8F

TEL 075-212-3813 FAX.075-212-3843 <http://www.fuji-fk.co.jp/index-fk.html>

石綿飛散防止剤の国土交通大臣認定取得者

富士セラ株式会社(〒604-8187 京都府京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町436番地2

SHICATA DIX BLDG 8F)

TEL 075-212-3813 FAX.075-212-3843 <http://www.fuji-fk.co.jp>

本概要書は、一般財団法人ベターリビングが行った「建設技術審査証明事業(住宅等関連技術)」の結果を広く関係各位に紹介する目的で作成したものです。  
一般財団法人ベターリビング<http://www.blhp.or.jp> 建設技術審査証明協議会 <http://www.jacicnet.jacic.or.jp/sinsa>